

=====

◆□◆◆□ 群馬産業保健推進センター メルマガ第 32 号 ◆□◆◆□
□◆□◆□ ホームページ <http://www.gummasanpo.jp/> □◆□◆□

=====

このメルマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された新着情報や産業保健情報を配信します。

=====

目 次

=====

1. 群馬職域メンタルヘルス交流会の日程について
2. 産業保健セミナー（8・9月の予定）のご案内
3. 7月のセミナー結果
4. その他関係機関の動き

=====

群馬職域メンタルヘルス交流会の日程について

=====

7月14日に当センターで「群馬職域メンタルヘルス交流会幹事会」が開催され、本年度の交流会の日程と内容が決まりました。

今年は「保健師・看護師」のグループが中心になって交流会を企画し、次のような日程になりましたので、どうぞご参加ください。

日 時 平成 22 年 9 月 15 日（水） 14：00～17：00

場 所 群馬メディカルセンター 大ホール

内 容

シンポジウム「中小企業における活気ある職場づくりにむけて」

座 長 林 恵子氏（パナソニック電工群馬株式会社看護師）

シゴジスト 石埜 茂氏（株式会社アイクルー代表取締役）

椎原康史氏（群馬大学医学部保健学科教授）

梶澤かおり氏（パナソニック電工朝日株式会社看護師）

小笠原 映子氏（群馬パース大学保健科学部看護学科講師）

助言者 錦戸典子氏

講 演「中小企業における活気ある職場づくり」

講 師 錦戸典子氏（東海大学健康科学部看護学科教授）

なお、医師の方は「生涯・専門」の 2. 5 単位を取得できます。

交流会のリーフレットをご覧ください。

<http://www.gummasanpo.jp/topics/H22syokuikir.pdf>

産業保健セミナー（８・９月の予定）のご案内

平成 22 年度 1 年間の研修はホームページに掲載してありますが、ここでは 8・9 月分を掲載します。夏休みの時期ですが是非ご参加ください。

（１）メンタルヘルス不全者の早期発見・早期介入

開催日時 8 月 4 日（水） 14：00～16：00
会 場 群馬県医師会 第 2 委員会室
講 師 竹内 一夫 相談員（メンタルヘルス担当）
内 容 メンタルヘルス不調者の早期発見・早期介入のための基礎的知識のレビューを行う。仕事ストレスからメンタル不調に至るメカニズムとその評価方法、統計データの紹介、及び現場におけるうつ状態の見分け方などを中心にアウトラインを解説。（基礎レベル）

満席になり、会場を隣の建物に変更しました。
それでもほぼ満席です。ご希望の方は至急申し込みをお願いします。

（２）生活習慣病・肝炎対策（産業医・生涯・専門）

開催日時 8 月 19 日（木） 15：00～17：00
会 場 前橋テルサ つつじ
講 師 田中 義 相談員（産業医学担当）
内 容 企業健診の結果を見ると、生活習慣病といわれている高血圧症、糖尿病、高脂血症やその予備軍と診断される人が増加している。国は特に糖尿病患者が増加していることに注目し、平成 20 年度から特定健診を実施し、メタボリック症候群対策を始めた。一方 B 型肝炎が C 型肝炎のインターフェロン療法に対し、県から補助金が出るようになり、インターフェロン療法を受ける人も増加している。今回はこの 2 つのテーマについて説明する。

（３）カウンセリングシリーズ編・まとめ

開催日時 8 月 24 日（火） 14：00～16：00
会 場 県庁昭和庁舎 26 会議室
講 師 沼澤 文子 相談員（カウンセリング担当）
羽鳥 弘明 相談員（カウンセリング担当）
内 容 シリーズのまとめとして、傾聴トレーニングを重ねると「こういうケースは実際にはどのように対応していくのが良いのだろうか？」という疑問が出てきます。このような疑問をどのように職場内に展開していけば良いのかを、長年実際の現場で対応してきた臨床心理士や産業カウンセラーが「事例」を交えながらお答えし、一緒に考えて行きます。

シリーズの最終回です。どうぞご参加ください。

(4) 歯科保健から考える生活習慣病

開催日時 8月26日(木) 14:00～16:00
会場 高崎市総合福祉センター 会議室2
講師 山口 達雄 氏(山口労働衛生コンサルタント事務所)
内容 事業場での歯科検診は、重要です。「成人歯科健診」と「産業歯科検診」の違いと産業歯科医による歯科健診を行わなければならない職場を職業性口腔疾患と共に説明します。また、歯周病が全身に与える影響を解説します。

「歯科保健」は初めて取り上げたテーマです。お楽しみに！！

(5) 健診データのまとめ方と活用(その3)

開催日時 8月31日(火) 14:00～16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 藤田 晴康 相談員(産業医学担当)
内容 一般的な表計算をソフトを用いて健診データを効率的にまとめるコツを解説する。初心者のために前2回の復習を行いながら、今回はやや上級の手法(マクロ)にも挑戦する。

(6) メンタルヘルス対策における産業医の役割(産業医・生涯・専門 2単位)

開催日時 9月2日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ けやきB
講師 竹内 一夫 相談員(メンタルヘルス担当)
内容 メンタルヘルス対策における産業医のかかわり方のポイントについて、職場メンタルヘルス体制の構築方法・評価方法から、実際のケース対応の注意点にいたるまで幅広く解説する。(基礎レベル)

(7) メンタルヘルス不全者の家族への対応

開催日時 9月3日(金) 14:00～16:00
会場 太田市社会教育センター 視聴覚室
講師 渡辺 俊之相談員(メンタルヘルス担当)
内容 うつ病・不安障害・認知症などメンタルに問題のある人を抱えた家族は、さまざまな否定的感情(不安、落胆、怒り、悲しみなど)を持つ。しかし家族はメンタルヘルス不全者をケアするため、そうした感情を抑えて「対応」していかなければならない。援助者は家族のケア能力を高めるために、家族の苦悩に耳を傾け、家族に病気やケアの情報を提供する必要がある。

(8) 一緒に考える衛生管理者の役割

開催日時 9月9日(木) 14:00～16:00
会場 渋川市中央公民館
講師 茂木 昭夫 氏(衛生管理者)

内 容 衛生管理者の役割と職務について再確認する。その後、日頃の労働衛生管理を行っていて感じている問題点について、持ち寄って、問題を共有し、話し合い、考え合って問題を解決していきたい。

(9) 誤解を防ぎながら信頼関係を築く対話法

開催日時 9月29日(水) 14:00～16:00
会 場 太田市社会教育総合センター 視聴覚室
講 師 浅野 良雄 相談員(カウンセリング担当)
内 容 相談では共感と傾聴が基本ですが、質問や情報提供も欠かせません。そこで重要なのは、状況に応じてこれらを切り替えるスキルです。研修では、これらを実践するために考案された、確認型応答を中心とする技法の解説と実習を行います。

(10) 事業所がとるべき新型インフルエンザ対策

開催日時 9月30日(木) 14:00～16:00
会 場 ぐんま男女共同参画センター
講 師 倉富雄四郎 氏(富士重工株式会社専属産業医)
内 容 新型インフルエンザとして登場した2009A/H1N1が従来のソ連型に変わって季節性インフルエンザの位置を占めると予想されている。昨年の経過を振り返り、適切な感染対策について考える。

7月のセミナー結果

(1) 最近の労働衛生関係法令の動向

7月13日(火)、群馬労働局の権田修労働衛生専門官に講師をお願いし当センター研修室で実施する予定でしたが、参加者が多かったため、会場を群馬県医師会第2委員会室に変更して実施しました。

29名の衛生管理者や安全衛生担当者に参加していただきましたが、「労働衛生関係全般の話が聞けた」「法令について再確認できた」「勉強しなければと思った」等のご意見を頂いた反面「資料が多くとても読めない」「ボリュームが大きすぎ時間が足りなかった」等のご意見もいただきました。今後の参考にさせていただきます。

(2) 産業医に役立つカウンセリング(産業医対象)

7月15日(木)、前橋テルサ「つつじ」で、カウンセリング担当の羽鳥裕明相談員に講師を勤めていただき、開催しました。

「心理カウンセリングとは」、「心理カウンセリングの理論」のお話の後、具体例を織り交ぜての軽快なお話に「もっと聞きたいくらい短かった」「お坊様のお姿でお話してくれるともっと嬉しかった」等のご意見をいただきました。

注：羽鳥先生は、真言宗のお寺の住職でもあります。

(3) 保護具の最前線

7月21日(水)、太田市社会教育総合センター第 講義室で衛生工学担当の大澤武克相談員に講師をお願いし実施しました。

猛暑の中ご参加いただきましたが、「会場が狭くて息苦しい」「暑くて大変だった。もう少し環境の良いところでお願いします」等のご意見をいただきました。会場については、今後検討させていただきます。

(4) カウンセリングシリーズ編・傾聴理論

7月27日(火)、県庁昭和庁舎 26 会議室でカウンセリング担当の沼澤・羽鳥両相談員に講師をお願いして実施しました。

カウンセリングの体験学習として、事例検討と逐語検討を勉強しました。逐語検討はカウンセラーが発した言葉がクライアントにどのような意味があったのか一言一句を検討するものです。

参加者からは「基本的なことが理解できた」「初めての経験ができた」「(シリーズに参加し) 興味が強くなってきた」「会場が音が反響して聞き取りにくい」等のご意見をいただきました。

(5) 一緒に考える製造現場における衛生管理者の役割

7月29日(木)高崎市総合福祉センター会議室2において、信越化学工業(株)群馬事業所衛生管理者 長井和俊氏を講師にお迎えして実施しました。

衛生管理者の職場巡視や現場労働者への指摘の方法などを、分かりやすくお話いただきました。お話の後、「衛生管理者と安全衛生委員会とのかかわり方」「労働安全衛生法と消防法等の法律への対応」等について質問が出され、和やかな雰囲気で行われることができました。

参加者からは「具体的な巡視結果や対策が聞けてよかった」「現場の視点での対応例が多くとても分かりやすかった」等のご意見をいただき、「機会があれば衛生委員会の進め方を取り上げて欲しい」とのご希望もありました。

(研修風景の写真は当センターホームページからご覧になれます。)

その他関係機関の動き

- * 平成22年7月1日、平成22年度群馬産業安全衛生大会&快適職場推進大会が開催されました。

<http://www.gummasanpo.jp/topics/topics22.7.2.pdf>

- * 平成22年7月8日、警察庁から平成22年1月から6月の自殺者数が発表になりました。自殺者数は全国で15,906人、群馬県で277人でした。

http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki/H22_tsukibetsujisatsusya.pdf

特別講演 山下泰裕（東海大学体育学部長）

<http://www.jisha.or.jp/taikai/index.html>

主催者 北関東・南関東地域放射線技師会

http://plaza.umin.ac.jp/~gart/GART_index.html

会 場 富山国際会議場・富山県民会館

http://www.pref.toyama.lg.jp/cms_sec/1204/kj00009402.html

そこでいくつかの指標で比較してみました。

①10年ごとの7月の前橋市の最高気温の平均値を挙げてみます。

1970年は29℃、1980年は26.8℃、1990年は29.6℃、2000年は32.3℃、今年は32.3℃で明らかに最高気温は高くなっていました。

②次に7月の前橋市の最高気温が30℃を超えた日数を数えてみました。

1970年は16日、1980年は9日、1990年は17日、2000年は23日、今年は23日でした。

③7月の前橋市の最高気温が35℃を超えた日数は1970年3日、1980年は0日、

1990年は3日、2000年は7日、2010年は7日でした。

④7月の前橋市の最低気温が20℃以上の日数は

1970年21日、1980年は15日、1990年は14日、2000年は26日、2010年は30日でした。

⑤7月の前橋市の熱帯夜（25℃以上）の日数は

1970年0日、1980年は0日、1990年は0日、2000年は1日、2010年は5日でした。

当然湿度等も大きく影響しているでしょうが、気温だけでみると、最高気温が高くなったこと以上に最低気温が高くなったことが、暑いと感じる大きな要素かもしれないと思いながら、8月は涼しく眠れる日が多いことを願っています。

=====

<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

sanpo10@gummasanpo.jp

=====

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966